

平成23年岩国市議会12月定例会報告

平成23年岩国市議会12月定例会は、11月29日から12月21日までの23日間の日程で開催されました。

会期中において、諸般の報告1件、監査報告4件、諮問2件、議案27件議員提出議案1件（意見書）が上程され、本会議並びに各常任委員会で慎重審議・審査が行われました。

- まず、諸般の報告において「愛宕山開発跡地について」10月に渡辺防衛副大臣が来岩し、国の正式回答を示したことを受け、市議会全員協議会、住民説明会の後、政策調整会議を経て、愛宕山用地を国に売却する方針を決定し、県知事との協議の結果、知事から合意を得た旨の報告がなされました。

- 次に例月出納検査について、一般会計・特別会計及び交通・水道・工業用水・病院事業の各会計とも適正に処理されているとの報告が監査委員からありました。
諮問2件については、人権擁護委員2名の任期満了に伴い、再度推薦されることが決定されました。

- 議案27件については、一般会計・特別会計・公営事業会計等の補正予算、新たな条例の制定と一部改正、指定管理者の指定等、各常任委員会に付託され、21日の最終本会議において各常任委員長から報告があり、いずれも可決されました。
また、9月定例会で設置された中山間地域（地域核）振興施策調査特別委員会・中心地域（都市核）活性化施策調査特別委員会の各委員長から中間報告がありました。
一般会計補正予算に係る歳入については、景気悪化に伴い個人市民税・法人市民税が減額補正され、その不足分については財政調整基金を充当する事とし、歳出については、特定防衛施設周辺整備費の追加交付により市立小中学校の空調設備基金積立金が計上され、補正額3,978万2千円となり、補正後の一般会計予算は、638億6,828万2千円となりました。

- 議会最終日に各会派代表から「防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書」が提出され、審議の結果全会一致で可決されました。

※ 各常任委員会の審査状況については、各委員長報告をご覧ください。